



入賞者は以下のとおり。(敬称略)

- 男子**  
優勝 さくらクラブ 星宮忠清  
準優勝 岡崎辰子クラブ 鈴木良幸  
第3位 太平クラブ 門脇正
- 女子**  
優勝 武蔵野悠遊会 細川勝子  
準優勝 蘭田長生クラブ 佐藤政子  
第3位 蘭田長生クラブ 菅原チエ

7月14日、生保内公園野球場で仙北市老人クラブ連合会の健康づくり親睦交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。市内3地区の老人クラブ会員が参加し、グラウンドゴルフを楽しみながら親睦を図りました。

### 仙北市老人クラブ連合会 健康づくり親睦交流 グラウンドゴルフ大会

### 仙北市老人クラブ連合会 世代間交流運動会



参加者たちは、たくさんの競技に心地よい汗を流しました。

7月28日、生保内市民体育館で仙北市老人クラブ連合会が主催する世代間交流運動会が行われました。スポーツ推進委員の指導のもと、だしのこ園の園児60人を迎え、136人の会員が紅白に分かれ、14種目の競技を楽しみました。園児たちの元気なかけ声に参加者は力をもらい、大会は大いに盛り上がりしました。

### 茂木一代さんに 人権擁護委員の 委嘱状を交付

人権擁護委員の茂木一代さん(角館町小勝田中川原)が6月30日で任期満了となり、引き続き、7月1日より3年間委員を引き受けてくださることになり、法務大臣から委嘱状が交付されました。

茂木さんは、子育て支援施設を中心となり運営するなど、子どもたちと関わる活動を積極的に行っています。また、長年、精神障がい者福祉ボランティアの活動も行い、子ども、弱者の人権擁護活動に深く理解されています。



茂木さんは「学校などで人権教室などを開催できれば」と話していました。

7月21日に温泉浴マイスター人材育成講座(仙北市温泉療養研究会主催 市川晋一会長が、西木温泉ふれあいプラザクリオンで開催され、ケアセンター南昌センター長の吉岡尚文先生、西木調剤薬局の島玲子先生を講師に迎え、温泉の泉質や効用、安全な入浴方法などについて講演が行われました。会場には大仙市からの受講者を含め34人が集まり、講師の分かりやすい話に真剣に聞き入っていました。



最後に認定試験が行われ、受講者全員に温泉浴マイスター認定証が交付されました。

### 温泉浴マイスター 人材育成講座

### 汚泥再生処理センター利用 組合が草刈りボランティア

7月19日、仙北市汚泥再生処理センター利用組合(後藤悦朗組合長)が、環境の美化と保全を目的に草刈りボランティアを行いました。組合員の皆さんは、汚泥再生処理センターから放流される処理水の水路脇の道路や環境保全センター敷地内と周辺の草刈りに汗を流しました。今後も組合では、環境を守るための活動を続けていきます。



草刈りボランティアに励む組合員の皆さん。

### 仙北市納税貯蓄組合連合会総会 納税組合・組合長を表彰

7月19日、仙北市役所田沢湖庁舎で仙北市納税貯蓄組合連合会(高橋達会長)の総会が開催されました。総会に先立ち優良納税組合と永年勤続組合長の表彰が行われました。



総会であいさつを述べる高橋会長。

- 優良納税組合表彰 ▼下生田納税貯蓄組合 ▼上森腰納税貯蓄組合 ▼歩行町納税貯蓄組合 ▼中村納税貯蓄組合  
30年勤続組合長表彰 ▼草薨穂直(大杉沢団地) ▼梁田顯(荒町上第一) 20年勤続組合長表彰 ▼鈴木英之(赤石) ▼西宮陽助(歩行町) ▼新山源一(下岩瀬町) ▼仲野谷藤吾(西川原建設) ▼門脇五郎(上門屋) ▼千葉勇(漆原) 10年勤続組合長表彰 ▼藤澤忠夫(銅屋) ▼川越喜夫(荒町二) ▼八柳俊三(山根町下丁) ▼仙波昭二(東勝楽丁) ▼倉橋繁徳(田町四区) ▼渡邊良夫(駅前南) ▼舩山智子(小倉一丁目) ▼戸澤壽一郎(赤平) ▼高橋勇(安久戸) ▼菅原和夫(中泊) ▼千葉祥司(別当村) ▼田中弘(宮田)

### 秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会

7月16日、大仙市雄物川河川緑地運動公園で、秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会が行われました。当日は、2市1町の各大会で勝ち上がった上位分団が出場し、小型ポンプ操法と規律訓練で競い合いました。仙北市からは、小型ポンプ操法の部に第4分団1班・2班、第8分団が、規律訓練の部には第7分団、第8分団、第9分団がそれぞれ出場しました。



小型ポンプ操法の部で第3位の第8分団。



規律訓練の部で第8分団は見事優勝を果たしました。

仙北市の結果は以下のとおり。

- 小型ポンプ操法の部**  
第3位 第8分団(白岩地区)  
第4位 第4分団2班(神代地区)  
第5位 第4分団1班(神代地区)
- 規律訓練の部**  
優勝 第8分団(白岩地区)  
第6位 第9分団(雲沢地区)  
第10位 第7分団(角館地区)

### 秋田発・子どもふるさと交流推進事業

### 女川町 / 富士河口湖町 / 仙北市の児童が交流



田沢湖クニマス未来館で環境について学ぶ児童たち。

8月1日から3日まで、宮城県女川町と山梨県富士河口湖町、仙北市の小学2年生から6年生までの児童25人が、自然体験、農山村体験などを通じて交流を深めました。これは、秋田県の「秋田発・子どもふるさと交流推進事業」を活用して行われたものです。

初日は、田沢湖でカヌーや田沢湖キャンプ場で石窯ピザ作りを体験し、2日目は、田沢湖クニマス未来館でクニマスを通じた環境学習を行いました。児童たちは農家民宿などに宿泊しながら、農家の暮らしぶりも体験。最終日は集落会館で、きりたんぼ作りを体験するなど、和気あいあいと交流を深めていました。

# ここから 変わる近未来

## 地方創生特区・近未来技術実証特区

7月23日の一般部門では、大雨の影響で会場にたどり着けない選手が数人いましたが、そんな悪天候にも関わらず県



熊の被写体を撮影する選手

7月22日～23日にかけて、ドローン歴2年未満の方を対象にした操作技術の競技会が、秋田ドローンコミュニティ等のドローン愛好者で構成されるドローンテクニカルチャレンジ実行委員会の主催のもと、田沢湖スポーツセンターで開催されました。

7月22日の高校生から大学生までを対象とした学生部門には、大曲農業高校、大曲工業高校、国学院高校(秋田市)、秋田コアビジネスカレッジ(秋田市)、秋田県立大学(由利本荘市)、青山学院大学(東京都)の合計6校がエントリーし、指定されたルートのスタートからゴールまでのタイムを競い合いました。このルート上には、熊や負傷者などの被写体を置き、それを撮影することで秒数を差引するというルールでした。競技は順調に進み、初心者とは思えないような見事な操縦技術と安全な飛行により、白熱した大会となりました。



障害物をよけて飛行する様子。

外から駆けつけた選手もいたため、規模を縮小して競技会が継続されました。一般部門では操縦エリアが制限され、難易度は大幅に上がったのですが、それを感じさせないスピードと安定した飛行を見せてくれました。

学生部門の参加者からは、「参加して良かった。来年は後輩にも参加してもらいたい」、「入門者向けの大会が増えてほしい」、「一般部門の参加者からは「来年も企画してほしい」などの感想をいただき、ドローンテクニカルチャレンジ実行委員会の播磨靖之代表は、「今後も入門者向けの大会として継続し、自然災害や遭難など非常時に迅速に、的確に、安全にドローンを操縦できる人材の育成に取り組みんでいきたい」と話していました。

市としては、今後このような活動を応援するとともに、秋田ドローンコミュニティ等の民間団体と連携したドローン技術の浸透と人材の育成に取り組んでいきたいと考えています。

問合せ  
仙北市地方創生・総合戦略室  
(田沢湖庁舎) ☎(43) 3 3 1 5



左から実行委員会代表の播磨さん、準優勝の細川さん、優勝の藤本さん、第3位の佐藤さん。

- 【一般部門】(敬称略)
- ▼優勝 藤本拓磨(川崎市)
  - ▼準優勝 細川明裕(横手市)
  - ▼第3位 佐藤源悦(花巻市)



学生部門で優勝した国学院高校の先生と生徒たち。迅速で正確なドローン操縦で見事優勝しました。

- 結果
- 【学生部門】
- ▼優勝 国学院高校
  - ▼準優勝 青山学院大学
  - ▼第3位 秋田県立大学
  - ▼第4位 M・4(大曲工業高校)
  - ▼第5位 秋コアファイターズ(秋田コアビジネスカレッジ)
  - ▼第6位 大曲農業高校

### ミャンマーの研修団が訪問



7月20日から23日にかけて、ミャンマーの青年研修員15人が仙北市を訪れました。これは独立行政法人国際協力機構(JICA)が毎年行っている研修事業の一環で、今回の研修テーマは農業施策。研修員の皆さんは、仙北市の農業や6次産業化、グリーンツーリズムなどの講義を受けた後、宿泊先の農家民宿で、農作物の種類や農機具などについて学んだりしていました。



仙北市の農業や6次産業化、グリーンツーリズムなどの講義。

### 神代地区の危険箇所一斉点検



子どもたちの身を守る。7月15日、神代地区民生児童委員が、地域の皆さんが安心して暮らせる地域づくりのために、夏休み期間中に子どもたちが遊ぶと思われる危険箇所について現状を把握し改善策等を検討しました。検討内容については、各小中学校へ報告しています。民生児童委員は、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役として、このような活動に取り組んでいます。



子どもの遊び場、危険箇所などを点検する民生児童委員。

### 第31回角館キッズ学びい教室



オタスケマンが勉強を手助け。7月27日から29日まで「角館キッズ学びい教室」が角館交流センターで行われ、市内外の小学生151人が参加しました。この教室は「楽しい学習オタスケマンの会(草薨稔会長)」が自学自習の支援を目的に、毎年夏の長期休みに開催しています。市民や現職・退職した先生、高校生総勢31人のオタスケマンが、子どもたちの質問に丁寧に答える姿が各教室で見られました。



オタスケマンのアドバイスを受け、熱心に勉強する生徒たち。

### 食について考える研修会



食育の大切さに触れる。7月18日、大曲支援学校せんぼく校で保護者や児童生徒、職員が食について考える研修会が行われました。参加者は、栄養士の高橋泰子さん(大仙市)の講話で規則正しい食習慣や生の野菜に触れて食べることの大切さなどを学びました。引き続き、仙北市食育推進会議の委員が講師となり、草餅づくりにも挑戦し、食を通して親子で楽しい時間を過ごしました。



草餅づくりのため、臼と杵で餅つきを体験する参加者。